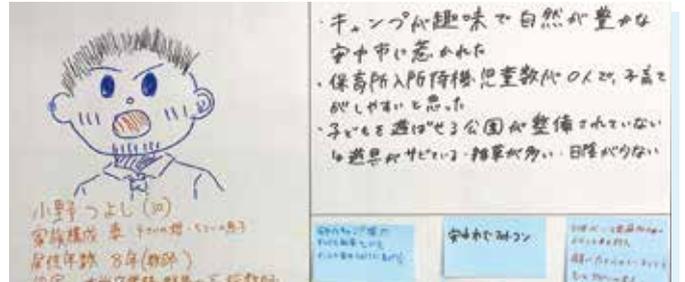


「未来の安中市」をつくるヒント

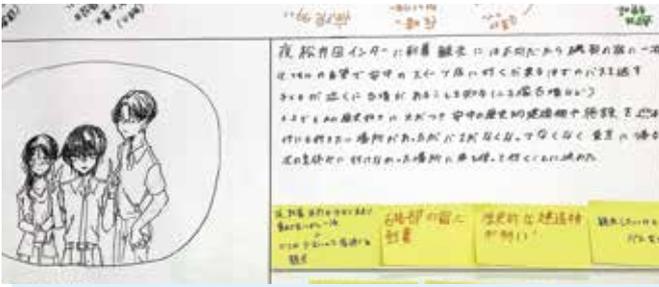
－高校生がみた課題と解決策－

子育て中や子育てが終わった家族、高校生、観光客など、目的をもって安中市に住んで(訪れて)人物を設定し、その人はなぜ安中市を選んだか、さらにより魅力を感じるにはどのようにすれば良いかを話し合い、

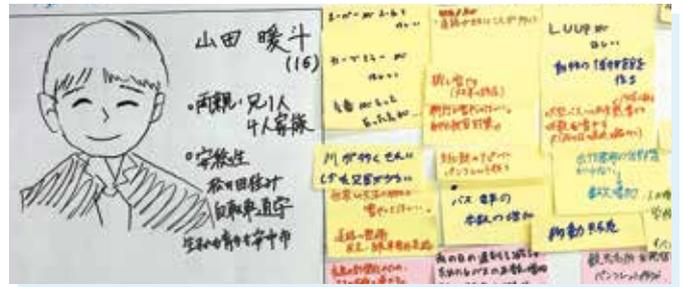
その取り組みを次々と模造紙に書き込んでいきました。市の良い面、改善すべき点も含め多くの意見が出されました。



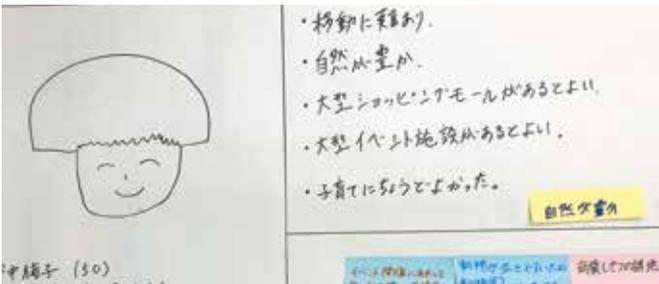
子育て中の家族。自然豊かな安中市が魅力だが、整備された公園が少ないのが悩み



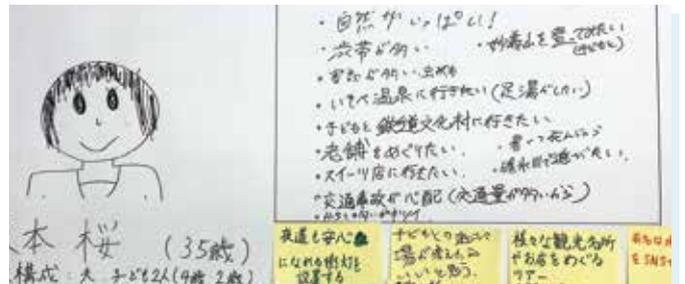
都内から観光に訪れた。歴史好きで文化財を巡りたいが、バスの便が少なく思うように見られない



自転車通学の安曇高生。自然が豊かな反面、街灯や歩行者用信号が少なく、道路の整備に不満を感じる



子どもも独立して夫婦で暮らす。大型の商業施設やイベントホールがあれば便利なのに、と感じている



都内からUターン。自然も観光名所も多いので、案内するツアーがもっと充実すれば良いのに、と思う

高校生の意見＝安中市の財産 しっかり活用

少子化が進む中、いかに若者を市に繋ぎ止めるかは、市の将来にとって大きな課題ですし、彼らが市にどんな印象をもち、何を望んでいるかを聞き、若者が魅力を感じる市の将来像を示すことで、彼らに多少でも影響を与えられるのでは、と思いました。

参加した生徒は、みな前向きで積極的に取り組んでいて、課題について

的確に考える力、協調性など様々な力を実感した、とても有意義なWSでした。

今回、聞くことができた高校生の意見は、安中市の大切な財産です。これを総合計画の参考とし、計画を通して若者に市の魅力が伝わるようしっかり活用するのが私の役割だと思っています。



高校生ワークショップを担当した、企画政策部政策・デジタル推進課政策・デジタル推進係 齋藤主任